

【日福協枠講演内容PRポイントまとめ】

	講師名	所属	講演テーマ	予定講演内容及びPRポイント
1 1 月 2 2 日	渡邊 慎一	横浜市総合リハビリテーションセンター 副室長	福祉用具専門相談員による多職種連携 ～福祉用具をより活用するために～	作業療法士、厚労省「あり方検討会」 委員、元厚労省指導官。 ①ふくせんの新計画書②日福協の事 故・リスク関連の2つの調査を基に講 演。地域包括ケア・チームケア・チ ームアプローチを行うにあたり、福祉用 具専門相談員が中心となって多職種連 携を行うにはどうすれば良いかを解 説。
	長倉 寿子	厚生労働省老健局 高齢者支援課福祉用具・住宅改修指導官	2040年に向けた介護保険制度における 事業所のあり方 ～福祉用具貸与・販売事業所に求められること ～	「あり方検討会」事務局。次回制度改 正内容は今年中に内容がほぼ固まる。 その最前線に居る指導官が11月末に介 護保険について語る為、 <b>決定目前の内 容を含むことが予想される。</b>
	加島 守	高齢者生活福祉研究所	くらしが変わる福祉用具 ～事例から見たPDCA～	理学療法士。在宅の1人の利用者を <b>長期 間（5年以上）モニタリング</b> し、福祉用 具のもたらした結果や経過や施設向け ポジショニングの事例紹介等が中心と なる。 <b>施設・医療系従事者の聴講がより推奨 される内容。</b>
	稲葉 貴之	(株)大垣共立銀行 法人営業部	デジタル時代の資産管理	<b>資産のデジタル化が進み、亡くなった 方の資産がどこに、どの様に残されて いるのかが分からなくなっている。</b> 残 す側、残される側が何をすべきかを説 明。
	加賀 夏子	(一社) バイオトラスト	今日からできる腸活ライフ	一般の方を主対象とした健康セミ ナー。 腸は「第2の脳」と言われるほど、腸内 環境の状態によって心身に大きく影 響するとされている。 100年時代と言われる昨今、長く健康で いるためのきっかけ講座。

	講師名	所属	講演テーマ	予定講演内容及びPRポイント
1 1 月 2 3 日	五島 清国	(公財) テクノエイド協会 企画部長	福祉用具・介護ロボットの開発と普及の動向に ついて	厚労省「あり方検討会」委員。介護ロ ボットはいかなるニーズに基づいて開 発されているか。そしてその普及状況 は。施設系ロボットとそれに関する報 酬改定等が中心。 <b>在宅介護はもとより施設系従事者の聴 講がより推奨される</b>
	中石 真一路	(特非) 日本ユニバーサルサウンドデザイン 理事長	耳から始める認知症予防への取り組み ～老年期の聴覚機能の活用と ヒアリングフレイル予防～	<b>ヒアリングフレイルとは聴覚機能の低 下によるコミュニケーションの問題 や、QOL低下を含むフレイルの1つ。</b> 難聴が認知症のリスク要因であること が多方面で発表されており、認知症予 防の観点で、新しい切り口として注目 されている内容

※介護保険制度における福祉用具貸与・販売種目のあり方検討会（表中：「あり方検討会」）とは、雑な言い方をすると介護保険の変更案を検討する会です。介護・医療・行政・学術などの各分野から代表が委員として10数名が招集（事務局を含めるとその内3名が今回講演されます）され、議論を行います。

正しい定義：社会保障審議会介護給付費分科会における令和3年度介護報酬改定に関する審議報告を踏まえ、介護保険制度における福祉用具の貸与・販売種目のあり方や福祉用具貸与・販売に関する諸課題等について、現行制度の貸与の原則や福祉用具の適時・適切な利用、利用者の安全性の確保、保険給付の適正化等の観点を踏まえた検討を行うため、介護保険制度における福祉用具貸与・販売種目のあり方検討会を開催する。